

2 学期始業にあたって

校長 森 武晴

2 学期始業にあたり、何点か話をしたいと思います。

7 月 20 日から昨日までの夏季休業、有意義な時間を過ごすことができたでしょうか。

7 月 31 日に本校で開催した農業クラブ県連大会農業鑑定競技会が行われました。係の皆さんには、この大会に向けて準備をしていただきました。皆さんのおかげで、立派な大会となりました。出場した選手の皆さんは、学習の成果を発揮し、素晴らしい成績をあげてくれました。

大会に参加した各校の先生、生徒さん、また、来賓の方々から、的確な運営、生徒の活躍、共に、お褒めの言葉をいただいたところです。島原農業高校、ここにありということを示せたことは素晴らしいと思います。

また、九州大会に出場した食品加工部の皆さん、優秀賞受賞おめでとうございます。残念ながら、九州代表、全国大会出場は逃しましたが、レベルの高い九州での優秀賞 2 位は素晴らしいことです。この結果を繋げて来年こそは全国大会出場をかなえてください。期待しています。

8 月に入ってすぐ、北部九州インターハイがありました。本校からは、先生がたと、弓道部をはじめ、52 名の皆さんに 弓道競技の運営にあたってもらいました。熱い中、とても大変だったと思います。お疲れ様でした。しかしながら、各県予選を勝ち抜き、全国大会に出場する選手、チーム、学校に関わって、刺激を受けたのではないのでしょうか。インターハイに参加できた生徒の皆さんは、とてもいい経験になったと思います。

話にあげた以外にも、夏の総合実習、インターンシップ、研修、資格取得、部活動の練習、試合、3 年生は就職・進学に向けた学習・準備と、それぞれが、熱い夏ではありましたが、自分を高めることができた夏季休業だったと思います。この夏に身につけたことを糧にして、これからの高校生活に活かしてください。

さて、令和 6 年度、2 学期が始まりました。

1 学期の終業式、「自信」を持つことが大切 という話をしました。

夏休み期間中、パリオリンピックがありました。テレビでオリンピックの活躍を見て、感動した人も多いと思います。オリンピックに出場した選手は 大会に向けて「自信」をつけて、「自信」を持って大会に臨みました。金、銀、銅メダルを手にした選手、チーム、残念ながら、悔しい思いをした選手等、様々でしたが、試合にのぞむ姿は、私たちに多くの感動、勇気を与えました。

今回のオリンピックで、私は「繋ぐ」という言葉が、一番、心に残りました。女子卓球団体、フェンシング団体、柔道団体、そして、体操男子団体。それ以外にもたくさんありましたが、繋がり、繋ぐことで、手にした「メダル」、「栄光」でした。

個人競技でも、メダルを獲得した選手からは、次に「繋げる、繋げたい」という言葉が多く出ていました。メダルまで届かなかった選手・競技でも 「繋げる、繋げたい」という言葉がありました。

「「繋ぐ」ということは、大切である」ということを改めて、感じさせてくれたオリンピックでした。



8月14日、テレビで団体金メダル体操男子の特番がありました。番組は中国との接戦を戦った団体選手5人の心情・想いを伝えたものでした。決勝前日のミーティングで、選手それぞれが「金メダルへの想い」を熱く語り、コーチを含めたチーム体操日本が、想いを一つに「繋がり」を深め、そして、決勝当日、エース橋本選手のミスでピンチを迎えますが、それぞれが金メダルへの想いをあきらめることなく持ち続け、「自分が何をすべきか」を考え、「自分の演技で次へ繋げることを思い、チーム全体で最後まで「繋がり」を意識した結果、金メダルをつかみ取ったということ伝えていました。

「繋ぐ」ことは大切、素晴らしいと思えた話が、もう一つ、あります。

皆さんは、島原市内に「浜の川湧水」があるのを、皆さん、知っていますか。島原の名物「かんざらし」で有名な「銀水」さんの前にある「湧水」（水がわき出ているところ）です。その「浜の川湧水」では、地域の方が、その湧き水を利用して、洗濯や野菜洗いをされています。生活の場に使われている「浜の川湧水」ですが、いつも、「きれい」なのだそうです。誰かが掃除をしなければ、「きれい」な状態を保つことはできません。湧水のある自治会の班の方が、掃除をおこなわれるそうですが、皆さん自主的におこなわれているとのことでした。班の皆さんは、生活の場として用いている湧水を「大事なもの」、そして、その湧水には多くの観光客が来られるため、「汚れてはいけなない」と思われているため、いつもきれいにされているそうです。

地域の財産である自分たちの「湧水」をいつまでも残して「繋げていきたい」、素晴らしい浜の川湧水を、多くの人に知ってもらい、そのすばらしさを多くの人に「繋げていきたい」との想いが、地域の方の「繋がり」を深めている、その「繋がり」の大切さを意識した地域の事例でした。

皆さんも、「繋がり」「繋ぐ」を意識して、いろいろなことにあたってもらいたいと思います。

3年生は、いよいよ今月16日から、進路決定の就職試験が始まります。2年生、1年生も、これから新人戦や各種大会、各種資格試験があります。

これから、就職試験・受験にのぞむ3年生の皆さん！ 就職試験・受験には、それぞれがのぞみますが、受験は団体戦だと私は思っています。各クラスが一つの方角を向いて、クラス全体で、また、学校全体で想いを一つにしてのぞむことで、それぞれの意識が高まり、「自信」と「力」が湧いてきます。クラスで、島農で 想いを繋げ、進路をつかみ取ってください。そして、その成果を後輩に「繋げて」ください。

2学期に行われる試合・大会へ出場、また、資格試験に臨む2年生、1年生の皆さん！ 試合、大会、資格試験も受験と同じです。部、チーム、クラスの「繋がり」を意識し、その「繋がり」を力として、臨んでください。

2学期の始まりにあたって「繋がり」「繋ぐ」ことの大切さ・素晴らしさの話をしました。「繋がり」「繋ぐ」ことを感じてもらえたでしょうか。

【感じて、感動、感謝】、島農生それぞれが、これからも充実した学校生活を送れることを願って、2学期始業にあたっての校長訓示とします。